

## 4 組織合同 C P D 講演会のご案内 (環境研究会 第 101 回会特別講演会)

主催：日本技術士会近畿本部 環境研究会・化学部会・繊維部会・農林水産部会  
協力：日本技術士会近畿本部、日本繊維技術士センター(JTCC)

環境研究会の7月度の特別講演会は、4組織合同講演会として開催いたします。  
開催方法について調整いたしました結果、本年も COVID-19 感染防止対策を優先して、Zoom 会議方式で開催することに決定しました。

Zoom 契約の関係で、定員が 100 名ですので、各部会とも 25 名の先着順で募集します。環境研究会として 25 名の枠を越えた場合は、キャンセル待ち扱いとさせていただきます、締切日(6月30日)時点で定員に至らなかったグループの枠を活用させていただく方式としますので、早期にお申込願います。

記

日時：2022年7月9日(土)13:30~16:30

場所：Zoom を利用した WEB 方式

講演

《演題1》 脱炭素化と経済成長 ～カーボンプライシングの役割をどう考えるか～

《講師》 京都大学 大学院 経済学研究科 教授 諸富 徹 氏

《要旨》 本講演では気候変動問題と経済成長の関係について、日本の置かれた状況を確認し次に、いち早くカーボンニュートラルを打ち出した欧州がどのような戦略の下、気候変動問題に取り組んでいるのかを解説する。

その上で、脱炭素化を図りながら経済成長を遂げるには産業構造転換/事業構造転換が不可避であることを説く。

最後に、脱炭素化を図る方がそうでない場合よりも経済成長が高まることを我々のシミュレーション結果で明らかにする。

《演題2》 海洋プラスチック問題とプラスチック資源循環

～マイクロプラスチックとメカニカル & ケミカルリサイクル～

《講師》 株式会社 旭リサーチセンター シニアリサーチャー 府川 伊三郎 氏

《要旨》 海洋プラスチック問題(大きなゴミとマイクロプラスチック(MPs))がトリガーとなりプラスチック資源循環(3R+Renewables)に発展した。これらの世界的潮流と動向を概観し、さらに海洋プラゴミとMPsの生成と行方、従来のメカニカルリサイクルと勃興するケミカルリサイクルの比較評価に焦点を当てる。

対象となるポリマーは、PE, PP, PS, PVC, PET, PAなどの汎用樹脂(特に容器包装材料)と汎用繊維である。バイオマス由来の汎用樹脂についても触れる。

C P D 時間：2.75Hr

参加費：環境研究会会員は、無料・・・年会費3,000円

年会費未納の場合の振込先(振込手数料は各自ご負担下さい)

●ゆうちょ銀行 00960-8-283856 口座名義人 奥村 勝

●他行からの場合は、ゆうちょ銀行 当座 口座番号 0283856

店名 ○九九 店(ゼロキユウキユウ店) 口座名義人 奥村 勝

会員外・・・他部会と合わせて2,000円とします。

参考：繊維、化学、農林水産の各部会員は、2,000円、一般は、2,000円

お申込み・お問い合わせ

環境研究会：藤橋 雅尚 Eメール：[m.fujihashi@nifty.com](mailto:m.fujihashi@nifty.com)

お名前、メールアドレス(参加用URL送付先)を記載して下さい

締切日：6月30日(木)

募集定員：25名(先着順)で、一旦締め切りとします。

以降の申込はキャンセル待ちとします。

(締切日以降の全体調整で余った枠に、先着順で充当させていただきます)

以上